

公益財団法人山梨県下水道公社 第4期経営計画目標達成状況 (1/2)

経営目標	実施施策	施策内容	達成基準	主な取組状況	評価及び今後の対応
(1) 適切な維持管理による環境の保全	①良好な汚水処理の確保	・放流水質管理目標の達成	・放流水質管理目標の達成	・流入下水量や流入水質の変動に応じた処理施設の適切な運転と現有施設の効果的な活用に努めました。	今期達成基準について一部の管理目標を達成することができませんでした。その他は達成することができました。今後は新たに設定した管理目標の達成に向けて取り組みを進めていきます。
		・汚泥処理管理目標の達成	・汚泥処理管理目標の達成	・汚泥性状に最適な高分子凝集剤を選定し、使用しました。 ・汚泥性状に応じた薬品注入率の最適化等、各設備の適切な運転に努めました。	今期達成基準について一部の管理目標を達成することができませんでした。今後は達成に向けて取り組みを進めていきます。
		・環境対策管理目標の達成 ・適正な水処理管理	・環境対策管理目標の達成 ・施設の特性に応じた良好な処理水の確保 ・適正な運転管理・施設運転の方向性の決定	・水処理、汚泥処理施設からの臭気漏洩に配慮するとともに、消臭剤の適切な添加を行いました。 ・水質日常試験、反応タンク日常試験等の結果を日々確認し、またその一部を自ら測定することにより運転方法に反映させました。 ・現有施設を効果的に活用し、安定した放流水質を維持することに努めました。 ・富士北麓については、令和2年度の調査研究の結果を踏まえ、機械式散気装置(No.1-1の2基)の間欠運転や2系返送率削減の年間運用を実施しました。 ・峡東については、令和2～3年度の調査研究の結果から、年間を通して硝化抑制運転を行う方針としました。 ・適正な運転管理、施設運転の方向性の決定(次期、経営計画及び包括委託における数値目標の決定)をしました。	今期達成基準を達成することができました。 今期達成基準を達成することができました。
		・周辺環境への配慮	・臭気発生源からの臭気の漏洩を最小限に抑制するように施設の運用を行いました。 ・生物脱臭設備、活性炭吸着塔の点検を定期的に行い、十分に効果が得られるように適切に管理しました。	今期達成基準を達成することができました。	
		・原単位電力量管理目標の達成	・原単位電力量管理目標の達成	・施設運転効率化のため、運転機器の台数制御、インバータ等の活用による出力調整及び負荷平準化等を実施し、施設増設改善要望や建設工事等に係る県との協議に際しては、技術的かつ経済的な範囲での省エネ機器等の導入を提案しました。	今期達成基準について一部の管理目標を達成することができませんでした。今後はエネルギー管理標準に基づき取り組みを進めていきます。
	②地球環境への配慮	・エネルギー原単位又は電気需要平準化評価原単位の年平均1%以上低減の達成	・エネルギー原単位又は電気需要平準化評価原単位削減目標の達成	・毎年5月に前年度の流域下水道事業全体のエネルギー原単位及び電気需要平準化評価原単位を算出しました。 ・エネルギー管理標準に基づくエネルギー使用合理化への取り組みを実行しました。	今期達成基準について一部の管理目標を達成することができませんでした。今後は達成することができました。今後は達成に向けて取り組みを進めていきます。
		・地球温暖化対策の推進	・省エネ法に基づく定期報告書の作成及び提出 ・省エネ実行計画実施評価の整理	・管理本館省エネ実行計画に基づく省エネ活動を実行しました。 ・掲示等により職員や来場者等に省エネ活動の啓発・周知を図り、省エネ意識向上に努めました。 ・温対法及び省エネ法に基づき、下水道関連事業場のエネルギー使用量、中長期計画書、定期報告書を取りまとめました。	今期達成基準を達成することができました。
		・適正な汚泥処理管理	・平成30年度に対する発生汚泥原単位(kg/m <sup>3</sup> )の削減	・汚泥日常試験等を行い、変動する汚泥状況の把握に努めました。 ・汚泥試験結果を基に現有施設を効果的に活用し、効率的な汚泥処理を行うことにより発生汚泥原単位の削減に努めました。	今期達成基準について一部達成することができませんでした。今後は達成することができました。今後は達成に向けて取り組みを進めていきます。
		・下水道汚泥エネルギー利用の検討	・エネルギー資源の活用に関する調査研究の検討・実施	・下水道技術情報誌、インターネット等のメディアにより、下水道エネルギー関連技術の情報収集に努めました。 ・下水道研究発表会に参加し、下水道エネルギー関連技術の動向や成果等の情報入手に努めました。	一部計画通りに取り組みを進めることができませんでした。今後は計画に即して取り組みを進めていきます。
		・新エネルギー活用の検討	・新エネルギー・再生可能エネルギー・省エネルギー等の最新技術情報の整理	・下水道技術情報誌、インターネット等のメディアにより、新エネルギー関連政策、技術等の情報収集に努めました。	今期達成基準を達成することができました。
(2) 循環型社会への貢献	①資源の有効利用	・下水汚泥の100%有効利用の継続	・下水汚泥の処分について、汚泥再利用率100%の達成	・下水汚泥を民間の処分業者に委託し、肥料又はセメント原料として、100%リサイクルしました。	今期達成基準を達成することができました。
		・処理水の再利用	・処理水再利用の継続 ・利用用途拡大の検討・検証	・処理水をトイレのフラッシュ水、機械冷却水、散水等に再利用しました。 ・下水道技術情報誌、インターネット等のメディアにより、処理水の利用用途拡大についての情報収集に努めました。	今期達成基準を達成することができました。
		・リサイクル活動の推進	・リサイクル活動の推進	・事業系ごみの分別、リサイクルに努めました。 ・事務用品等の調達において、環境配慮型の物品調達に努めました。	今期達成基準を達成することができました。
		・山梨県汚泥処理基本計画策定への参画	・山梨県汚泥処理基本計画策定への協力	・県に対し汚泥処理基本計画策定(更新)の依頼や必要な情報の提供・提案を行いました。	今期達成基準を達成することができました。
(3) 技術力の蓄積と活用	①技術力の蓄積と継承	・維持管理情報の蓄積と技術力の向上	・維持管理情報を活用した、臨機への対応力の向上	・朝礼時の報告や日報等から各種調査、点検に係わる業務委託、修繕業務などから維持管理情報を収集、蓄積し、常に処理状況、各種設備の状況などの分析を行い、大雨に伴う流入水量の異常時や主要設備の不具合発生時に備えました。	今期達成基準を達成することができました。
		・維持管理技術の調査研究	・調査研究による、技術力の向上 ・調査研究分野の拡大の検討	・各センターにおいて、調査研究グループを構成し、選定したテーマの調査研究を実施しました。 ・前年度に実施した調査研究の成果を報告書にまとめ社内にて共有し、また調査研究報告会を実施し、報告書を県及び市町村に配付し共有しました。	一部計画通りに取り組みを進めることができませんでした。今後は計画に即して取り組みを進めていきます。
		・技術力の継承	・新規採用職員等への指導・外部研修による、技術力の継承・確保 ・職員研修計画の策定・実施	・外部研修へ職員を派遣しました。 ・新規採用職員に向けて新規採用職員研修を実施しました。	今期達成基準を達成することができました。
	②技術力の活用	・流域関連公共下水道の水質分析受託事業の継続実施	・下水道に関する水質分析委託業務の実施 ・適正な計量証明事業の実施	・流域関連市町村から、流域下水道へ流入する下水の水質調査を受託しました。 ・分析機器の定期点検を実施し適正な管理に努めると共に、技能試験に参加し分析に係る制度管理に努めました。	今期達成基準を達成することができました。
		・流域関連公共下水道維持管理受託事業の継続実施	・流域関連市町村の下水道維持管理業務受託事業の実施	・公共下水道マンホールポンプ維持管理業務、公共下水道マンホールポンプ技術援助業務を受託しました。	今期達成基準を達成することができました。今後は維持管理業務の受託1市は技術援助業務に切り替えて受託してまいります。
		・下水道排水設備工事責任技術者認定・登録事業の継続実施	・県下統一機関としての認定・登録事業の実施 ・効果的な講習会の開催	・樹脂製マスマーカーに対し、最新技術情報の入手のため、アンケートを実施しました。 ・県内下水道実施市町村に対して、指定工事店及び責任技術者等に関するアンケート調査を実施しました。 ・登録更新講習会は、コロナ禍でも安全に実施できるよう1回当たりの人数を制限し、回数を増やして実施しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・広域化・共同化計画策定への協力	・広域化・共同化プロジェクトによる組織的対応の実施	・広域化・共同化プロジェクトを公社のあり方検討プロジェクトに併合して組織的対応を行いました。 ・県で実施の広域化・共同化計画策定の各作業部会に参加し、公社として、意見、助言などを行うことにより、計画の策定に協力しました。	今期達成基準を達成することができました。
・新たな支援の検討	・新たな支援業務ニーズの調査・分析・試行	・公社のあり方検討プロジェクトにて、一部市町村に対して現状抱える問題、ニーズ等について、対面ヒアリングによる情報収集を行いました。 ・新たな支援の手がかりとして、山梨市の下水道担当職員を対象に管路内補修の見学会を実施しました。 ・調査研究により、山中湖村公共下水道の不明水に対するスクリーニング調査の実施と、不明水対策の支援を行いました。	今期達成基準を達成することができました。		

公益財団法人山梨県下水道公社 第4期経営計画目標達成状況 (2/2)

経営目標	実施施策	施策内容	達成基準	主な取組状況	評価及び今後の対応
(4) 危機への備えと対応力の強化	①災害リスクへの備え	・実践的な訓練の実施	・大規模災害に備えた実践的訓練の企画・実施	・災害用資機材を用いた訓練内容を企画し、「下水道BCPに基づく訓練」を実施しました。山梨県県土整備部主催の「地震防災訓練（情報収集・伝達）」に参加しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・各種マニュアルの整備	・各種マニュアルの整備による対応力の強化	・維持管理計画書の異常時・緊急時の運転操作計画書において、流入下水道異常時及び流入水質異常時の核施設の運転操作要領を作成し、これに基づくフローシートを作成しました。 ・山梨県流域下水道災害対策マニュアルの改訂に協力しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・災害対応資機材の整備	・災害用資機材の適正な管理 ・各流域における災害用資機材の運用に関する検討・提案	・災害用資機材の適正な管理に努めました。 ・移動用電気工作物の法定点検を実施しました。 ・各流域における災害用資機材の適正保有数等を社内で協議し、県に提案しました。	今期達成基準を達成することができました。
	②危機への対応	・災害時の配備体制	・災害対策配備体制の確立	・通年及び長期休暇の災害配備体制の整備を行い、災害発生時の初期対応に必要な体制を確保しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・下水道BCPに基づく対応	・下水道BCPに基づく速やかな対応（発生時） ・処理機能の確保（発生時）	・令和元年台風19号による大雨で水量が大幅に上昇し、ポンプ場の浸水が予想されたため、下水道BCPに基づき土嚢袋を並べて流路を確保し、マンホールを開放して固形塩素で消毒しながら下水を川へ放流する事例がありました。 令和2～3年度の震度4以上の地震発生時には、緊急点検の実施及び災害配備体制により警戒にあたりました。	今期達成基準を達成することができました。
		・水質事故等への対応	・日常監視による異常の早期発見 ・異常流入時の対応力の確保	・流入下水の日常監視をし、悪質下水等がないか確認を行いました。 ・依頼された市町村が実施した悪質下水流入対応に協力しました。	今期達成基準を達成することができました。
	③施設の老朽化・突発事故への対応	・適正な設備の点検	・設備管理台帳システムと連携した設備保全の実施	・点検結果や故障対応状況を台帳システムに入力して情報を共有し、維持管理状況を正確に把握するとともに、適正な設備保全に努めました。	今期達成基準を達成することができました。
		・設備管理台帳システムの確実な管理	・設備管理台帳システム再構築までの既存システムの機能維持及びセキュリティ保持 ・設備管理台帳システム再構築に伴う効率的かつ効果的な新システム構築への協力 ・新システムの業務活用及びシステム機能の最適化	・既存システムのシステムデータバックアップの毎月実施や故障対応を行い適切に管理しました。 ・新システム構築業者と仕様に関する打合せや協議を行い、システム構築を支援しました。 ・新システム運用開始に合わせて構築業者と保守サポート業務委託を締結し、新システムの適正な運用及び保守を実施しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・ストックマネジメントへの参画	・ストックマネジメントへの参画	・維持管理情報の記録及び管理を行いました。 ・ストックマネジメント計画策定への協力を行いました。 ・改築・更新工事への協力を行いました。	今期達成基準を達成することができました。
		・効率的な修繕の実施	・ストックマネジメント計画に則った適切な設備保全の実施	・年度当初にストックマネジメント計画に則った設備保全計画を策定しました。 ・各センターで策定した財政計画をもとに効果的で効率的な修繕を実施しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・維持修繕基準に対応した管路施設の管理	・管路施設の突発事故予防と事故発生時の適切な対応	・維持修繕基準に対応した管路施設の調査・修繕・清掃を実施しました。 ・令和2年度に発生した下矢作マンホールポンプ場でのポンプ故障による突発的な送水機能停止に対し、汚水溢水に至る前に県の災害用資機材のポンプと発電機を緊急使用し水替え対応を実施した事例がありました。 ・令和3年度に発生した双葉ポンプ場下流の釜無川1号幹線管路破損事故に対し、県と連携して双葉ポンプ場流量制限や応急復旧対応を検討し、原因者への提案や現場対応の立ち会い確認を行った事例がありました。	今期達成基準を達成することができました。
	(5) 普及啓発に関する	①普及啓発事業の実施	・各種普及啓発活動の実施	・各種普及啓発活動の継続実施 ・新たな普及啓発活動の企画・実施	・処理場施設見学、下水道出前教室、下水道ポスターコンクール、下水道まつり等を実施しました。ただし、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、次のような対応をとりました。 処理場施設見学は令和2年度は年間を通して中止、令和3年度からは「施設見学ガイドライン」を作成して、コロナ対策を講じながら実施しました。下水道出前教室は中止期間もありましたが、「下水道出前教室実施基準」を作成して、安全が確認された場合に限り実施しました。下水道ポスターコンクールは通常どおり実施しましたが、表彰式は会場を変更し、来場者を制限して行いました。下水道まつりは延期としました。
②効果的な普及啓発活動		・適切な広報活動、普及啓発活動の充実 ・ホームページの活用	・ニーズに合わせた普及啓発活動の実施 ・効果的な啓発手法の検討・実施 ・ホームページの活用による効果的な啓発の検討・実施	・各小学校の先生と打合せや下見を行い、ニーズに合わせた施設見学、下水道出前教室を実施しました。令和2～3年度はコロナ対策を講じながら実施しました。 ・他県下水道公社のホームページを閲覧し、情報収集に努めました。 ・ホームページの掲載内容を適時更新すると共に掲載内容について検討し一部変更しました。	今期達成基準を達成することができました。 今期達成基準を達成することができました。
(6) 信頼性の高い事業運営	①自立した経営の推進	・処理場運転管理における民間委託の推進	・社会情勢や管理体制に応じた包括的民間委託の実施	・処理場運転管理における適正な監視・評価を実施しました。 ・包括的民間委託の改善事項等を抽出して対応を協議し、入札参加要件の緩和、小修繕の上限の引き上げ、新たに管路内定期清掃業務の包括などを発注に反映し、業務の効率化につなげました。	今期達成基準を達成することができました。
		・電気需給契約の契約手法の検討	・新たな電気需給契約手法の検討 ・新たな電気需給契約の試行・検証	・小売電気事業者の下水道施設における電気需給契約の意向調査を行い見積提案や電力入札への応札意向の確認を行いました。 ・新たな需給契約手法とその課題等について検討を行い、令和3年度より単年包括契約（割引契約有り）を採用しました。	今期達成基準を達成することができました。
		・契約の透明性、競争性の向上	・適正処理及び安定処理を確保した契約方法の検討・実施	・県と脱水汚泥収集運搬処分契約の方法について協議を行いました。 ・各汚泥処分場に対して次年度の山梨県流域下水道汚泥の受入可能量について調査を行いました。	今期達成基準を達成することができました。
		・調査研究によるコスト削減	・調査研究成果を反映した維持管理コストの削減	・平成30年度に富士北麓流域で実施した調査研究「中継ポンプ場汚水ポンプのインバータ制御による汚水ポンプ連続運転の有効性について」の成果を峡東流域金川汚水中継ポンプ場に適用したところ、流入下水量は対前年比104%と増加しましたが、使用電力量は対前年比88%と減少し、コスト削減効果を確認することができました。	今期達成基準を達成することができました。
	②組織の活性化と人材育成	・機能的で効率的な組織体制 ・職員の相互バックアップの推進、職員の能力・技術力の向上 ・今後の事業展開の検討	・機能的で効率的な職員配置の実施 ・職員採用計画の策定 ・相互バックアップ可能な体制の確保 ・人材育成・能力開発による技術力の向上 ・社会情勢に応じた事業展開の検討	・事業に応じた機能的な業務執行体制を検討し、適正な人員配置を行いました。 ・中期的な組織体制を念頭に再任用職員の配置と職員採用計画に関して検討を行いました。 ・職種によらない業務の習得、バックアップ体制の構築を目的に、様々な職種の職員が管路管理業務を分担することを推進しました。 ・会社のあり方検討プロジェクトで、一部の市町村に対して新たな支援業務ニーズのヒアリングを行いました。 ・今後の会社の組織体制の検討を行いました。	今期達成基準を達成することができました。 今期達成基準を達成することができました。 今期達成基準を達成することができました。
③働きやすい職場環境づくり	・法令の遵守、仕事と子育て等の両立支援、ノ一残業デーの推進 ・適正な業務分掌、目標を持った業務の実施	・労働関係法令遵守の徹底 ・育児休業、介護休暇制度の周知及び対象者の休暇等取得 ・定時退庁日における時間外勤務量の削減 ・適正な業務分掌の策定による働きやすい職場づくり ・業務執行計画ヒアリングによる職員の意欲向上	・労働基準法の改正等に伴い、就業規程や臨時職員取扱要綱の改正を行いました。 ・ノ一残業デー（毎週水曜日）推進の取り組みを実施しました。 ・職員個々の適正な業務分掌を策定しました。 ・職員個々の業務計画（目標設定シート）を作成し、取り組み状況の確認を実施しました。	今期達成基準を達成することができました。 今期達成基準を達成することができました。	